



名護 社長

継続で企業信頼性向上

自治体の基幹システム参入

コンピュータ沖縄は、リツた「ITフェア2012」は、ムが外部に表彰されたことは、1スに限りのある社員に加、目標を上回る過去最多の11え、ホームページ（HP）や91人が来場。25社の出展、メールマガジン（MM）など2種類の基調講演、12種類のさまざまなツールを駆使し、セミナーをそれぞれ実施。企業の信頼性向上に努める。

来場者数が目標を大きく上、顧客との接点強化を目的に、10年4月から配信開始したMの登録件数は1400件を、超えた。沖縄に近づく台風予

報があると、IT機器の水漏れ対策やデータバックアップの必要性などを紹介。故障を未然に防ぎ故障件数の削減にもつながっている。普段は一方的な情報発信だが、フェアの会場では来場者から「MMが役に立ったと、感謝の気持ちを聞けた」という。

12年は浦添市の基幹システムのサポート業務を獲得し、同社として初めて自治体の基幹システムへの足がかりを作った。児童手当関連など3件の開発案件も12年末に獲得。今回の業務獲得で「自治体クラウドの入札に参加できるようになるため、戦略的に重要な位置づけ」とし、県が推進しているクラウドデータセン

名護宏雄社長は「はやり廃りなく継続すること、過去の取り組みも引き続きオープン

基調講演（新OSとスマートデバイス）の内容だけではな

顧客との接点強化を目的に、10年4月から配信開始したMの登録件数は1400件を、超えた。沖縄に近づく台風予

浦添市向けの体制を強化するため、現在の応用技術課とソフトウェア開発課を統合し、4月から行政部門を新設し、人材育成とともに、増員を計画している。

にすることで信頼度は上がった」と効果を話す。

い。HPとMMによる発信力の強化もある。

報があると、IT機器の水漏れ対策やデータバックアップの必要性などを紹介。故障を未然に防ぎ故障件数の削減にもつながっている。普段は一方的な情報発信だが、フェアの会場では来場者から「MMが役に立ったと、感謝の気持ちを聞けた」という。

浦添市向けの体制を強化するため、現在の応用技術課とソフトウェア開発課を統合し、4月から行政部門を新設し、人材育成とともに、増員を計画している。

12年10月30-31日に開催し

県商工会連合会が11年度に初めて開催した「第1回うち

なHPコンテスト」の事業所部門で最優秀賞を受賞して

から、アクセス件数は前年比20%増で推移しているとい

「自らが使っているシステ

HPやMMは同業他社も強

を計画している。